CSR活動と、11年目を迎えた「宇都宮まちづくり貢献企業認証制度」

当たり前のことを継続することが大切

当所も参加している宇都宮CSR推進協議会の「宇都宮まちづくり貢献企業認証制度」が、11年目を迎えてリニューアルされました。そこで認証制度の概要とともに、認証企業のパスキン工業㈱の事例をご紹介します。

企業が地域に貢献することの重要性

「CSR」とは「企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）」の略称です。企業には、事業活動を通じて社会に貢献する責任があるという考え方から生まれた言葉です。利益追求だけでなく、より良い社会の実現のために、社会の一員である企業が活動を通じて貢献することの重要性を知らない企業人はいないでしょう。

企業活動には社会的責任がともなうという考え方は、日本では1970年代にはすでに知られていましたが、CSRという略称とともに広く受け入れられるようになったのは、21世紀に入ってからです。行政による支援も大きな力となってきました。

CSR活動というと、どうしても肩に力が入ってしまったり、逆に「当社の規模では無理」と最初からあきらめてしまったりしがちですが、「これをやらなくてはダメ」という決りはありませんから、企業がそれぞれの企業力に応じたことを少しずつ積み重ねていくことが大切です。

平成20年に当所など経済団体や企業、学識経験者、NPO団体などが参加して設立された「宇都宮CSR推進協議会」（https://www.csr-utsunomiya.net/）は、CSR活動の普及啓発や取り組み企業への支援などを行っている組織です。特に重要な事業に「宇都宮まちづくり貢献企業認証制度」があります。同協議会公式サイトではこの制度について、次のように説明しています。

この制度は、「人づくり」「まちづくり」「環境づくり」などのCSR（企業の社会的責任）活動を宇都宮市のまちづくりの重要な仕組みと位置づけ、活動に取り組む企業を、「宇都宮まちづくり貢献企業」として認証し、さまざまな分野での活動を支援・推奨することによって、企業・市民・行政の協働のまちづくりを行っていくことを目的とした制度です。

対象となるのは、宇都宮市内に本事業所があり、1年以上継続して事業を営んでいて、市税を滞納していない企業ですから、通常の企業であればほぼすべて当てはまります。認証には書類選考や現地調査、ヒアリングなどのステップがあります。審査自体は厳格に行われますが、一般的な企業にとって特に難しい内容ではありません。

認証を受けると認証書が授与され、公式サイトなどでPRされます。また低利融資制度や入札優遇制度などもあり、企業活動にとってのメリットもあります。

宇都宮まちづくり貢献企業認証制度は制度スタートから11年目を迎え、平成30年度にリニューアルされ、これまで以上に企業にメリットがあるものとなりました（コラム参照）。詳細は協議会公式サイトに説明や申請書式などが掲載されていますので、アクセスしてみてください。

宇都宮まちづくり貢献企業認証制度の企業認証内容

	項　目	主な取組内容（例示）	必要な取組数(企業別) 小規模 ~20人	中小 ~300人	大規模 301人~
必須	コンプライアンス	法令順守、市税完納等	法令順守宣誓書 ＋ 完納証明		
必須	CSR推進計画	CSRシステム等	計画・実施・評価・改善		
重点・協働関連	人づくり（教育等）	学校への出前講座、親力向上等	1	2	3
重点・協働関連	魅力あるまちづくり（健康・福祉、文化、スポーツ等）	文化の振興、スポーツ振興 福祉のまちづくり等	1	2	3
重点・協働関連	活力あるまちづくり（経済・産業・観光等）	産業の振興、産学官連携、おもてなし活動等	1	2	3
一般	協働のまちづくり（地域参画・防災・交通、国際等）	地域コミュニティ参画・支援、安心のまちづくり等	1	2	3
一般	地元密着・地域志向	地元雇用・地産地消等	1	2	3
一般	雇用・労働	高齢者・障がい者雇用環境等	1	1	2
一般	環境	ISO取得、温暖化対策等	1	1	2
一般	消費者・顧客対応	顧客対応体制、消費者教育等	1	1	2
企業規模別の基準点数			3点以上	6点以上	9点以上

［認証］必須 ＋ 3項目以上（重点・協働関連から最低1項目を実施） ＋ 基準点数以上でクリア

認証企業紹介　パスキン工業㈱

「ふだんやっていることが、社会貢献活動に結びついています」

平成27年度に「宇都宮まちづくり貢献企業」の認証を受けたパスキン工業㈱（佐藤節社長、本社・宇都宮市野沢町）はコンクリート製品の製造販売事業と、土木設計や測量、地質調査、コンクリート診断などを手がける建設コンサルタント事業を行っています。

同社は平成26年度に、栃木県が定めた「エコキーパー事業所認定制度」（地球温暖化対策に優れた取り組みを実施している企業の認定制度）を取得しました。そして、翌年に「宇都宮まちづくり貢献企業」の認証を受けました。

同社の佐藤靖専務は「環境問題や地域貢献には、以前から取り組んでいました」と話します。「私たちは社会のインフラに関わる企業として、これらの問題にはつねに自覚を持って事業を進めています」

同社のCSR活動は、大きく5つに分けられます。

① 会社周辺の清掃活動（毎月1回）
② ペットボトルキャップ回収
③ 地域の祭りやイベントへの協賛
④ インターンシップ受け入れ
⑤ エコスラグを使ったコンクリート製品づくり

「こうした活動は、まちづくり貢献企業の申請を出す前から、当たり前のこととして続けてきました」

これらの他にも、社員全員にエコバッグを配布するなど、さまざまな面で環境面に配慮しています。

インターンシップ（基準点・現地測量体験）

「特別なことはやっていません」と謙遜する佐藤専務。確かに、前途の⑤以外の活動は多くの企業も実践しているものでしょう。しかし同社は、CSRということばが一般化する前からこうした活動に取り組んできました。この「持続する意志」が、何より重要なのではないでしょうか。

現在、同社が力を入れているのは、建造物のコンクリートを診断し、疲労度や耐久年数を調べるコンサルティング事業です。ビジネスの一環でありつつ、道路や橋、ビルなどの土木・建築が現代社会を支える重要なインフラであることを考えれば、この診断事業もビジネスであると同時に社会貢献活動とも言えます。

「宇都宮まちづくり貢献企業の認証取得で、社会からの信頼度も高まりました。ビジネスだけでなく人材募集の面でも、大きな効果をあげています。今後も、さらにCSR活動を推進していきます」と佐藤専務は笑顔で話しました。

社員全員にエコバックを配布

パスキン工業㈱ 佐藤靖専務取締役（右）と同社のCSR活動の実務担当者である総務部 福田知大係長（左）

新しくなった「宇都宮まちづくり貢献企業認証制度」のポイント

宇都宮CSR推進協議会が制定している「宇都宮まちづくり貢献企業認証制度」は、CSR活動に積極的に取り組み、まちづくりに貢献する企業を認証する制度です。

発足して10年、現在147社が認証を受けています。この認証企業数をさらに拡大し、宇都宮市内の企業によるCSR活動の活性化をはかるために、宇都宮市は制度を改正し、平成30年度より新規申請企業と更新申請企業を対象に適用することになりました。

既存の制度から変わった点を宇都宮CSR推進協議会事務局に取材しましたので、簡単にまとめてみました。

・手続きの簡素化

新たに取り組んだり、現在の取り組みを継続させたいと考えている企業が挑戦しやすくなりました。

・PRの強化

公式サイトのリニューアルなどを通じて認証企業のイメージアップにこれまで以上に力をいれています。また、これから取り組もうとする企業に向けての制度PRにも力を注いでいます。

・企業認証内容の見直し

認証のためには、定められた取組項目を満たすことが必要です。それぞれの項目には取組内容や取組数が定められています。例えば「地元密着・地域志向」の項目では「地元雇用」「地産地消」などが取組内容として挙げられており、さらに企業の従業員数によって「どんな取り組みをいくつ行ったか」によって点数がつけられます（表参照）。

今回の改正により、これまで定められていた必須項目や一般項目に加えて、重点・協働関連項目が加わりました。認証取得のためには、必須項目に加えて一般と重点・協働関連から3項目以上を満たす必要があり、そのうち最低1項目は重点・協働関連から実施しなければなりません。

このように書くと難しそうですが、実際には日常業務の延長で実施できるものがほとんどです。CSRに取り組む意識を持っている企業であれば、すでに行っている取り組みがほとんどでしょう。

以上、主だった改正ポイントを挙げてみました。詳しくは宇都宮CSR推進協議会のウェブサイト（https://www.csr-utsunomiya.net）に詳しく掲載されていますので、アクセスしてみてください。

問合せ
宇都宮CSR推進協議会
事務局
（宇都宮市 商工振興課
商工振興グループ内）
☎028-632-2433
https://www.csr-utsunomiya.net